

Ⅱ－1 自転車走行空間事例

(1) オランダ

国名・都市名	オランダ・ハウテン	交通機関	自転車
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダ国内でも最先端の自転車都市と言われるハウテンは、オランダ第4の都市であるユトレヒトの近郊に位置するニュータウンで、人口は3万人、面積420haのコンパクトな都市である¹⁾。 ・この街はニュータウンでまちづくりの初めから「自動車に依存しないコミュニティ」を目指してきた。ニュータウンの外周には約8kmの環状道路が整備されており、自動車はその環状道路を使って市内へ入る¹⁾。 ・ニュータウン内のネットワークの骨格は、自転車・歩行者道ネットワークを中心に構成されている。駅前のセンター地区を中心に放射状に自転車幹線を配置し、各居住区から幹線までを自転車支線で結んでいる¹⁾。 ・自転車ネットワークと自動車ネットワークは基本的に分離していて、交差点では自動車に対し自転車が優先である。自転車道と歩行者道は緑地帯と一体的に整備され、快適な空間を提供している¹⁾。 ・自転車はまちの中の移動が便利に行えるように、まちの中心部に幹線を配置し、そこから支線が枝分かれている。一方、車の場合は、幹線道（自動車専用）である外周道路から各住戸に取り付くようになっており、補助幹線道路が省かれたネットワーク形態をとる。（自転車を中心に道路網が配置され、自転車道が幹線と支線に仕分けされている。車の場合、幹線道路が外周部分にあるだけであり、内部には幹線道路はなく、単なる区画道路扱いである²⁾。 ・ニュータウン内では自動車が抑制されており、各居住区の自動車の入り口は1ヶ所だけである。自動車で居住区間を移動する場合には、一旦環状道路に出なければならない。また、T字路やL字路が組み合わせられ、自動車の速度が低下する交通静穏化方策がとられている¹⁾。 <div data-bbox="683 1547 1225 1966" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">図 ハウテンの道路ネットワーク²⁾</p>		

出典	<ol style="list-style-type: none">1) タウンモービルネットワーク北九州 http://www.npo-ktmn.com/about/purpose.html2) 新田保次「自転車力を生かしたまちづくり」『Urban』財団法人堺都市政策研究所、Vol.21（2009年3月）
----	--